

上海

No. 29. "THE SHANGHAI."

大正二年二月十一日
第三種郵便物認可
(毎月曜日發行)

大正二年
八月廿五日
第二十九號

- 目次
- 國家の存立と政論
- 滬上小言
- 文苑
- 漢字新聞論調
- 雜誌
- 各地通信
- 各地風采
- 公人消息
- 上海港船舶出入統計
- 上海港船舶出入統計
- 郵船社在庫品統計
- 金融市況
- 各種商況

● 國家の存立

と政論

滬上小言

自己の主義主張を貫徹せしめんが爲めには其の自己の國の滅亡も差支なしと云ふ事ならばいざ知らず、自己の主義主張を急にして是非實行せざれば自己の國を滅亡せしむる方よしと云ふ事ならばいざ知らず、苟も自己の國を愛する者ならば自己の國をして世界列強間に介立せしめ一國としての面目を保持し得る様にすることこれ即ち眞に國を愛する者のなすべき事にして、苟の國家の存在を得んが爲めには多少自己の主義主張も犠牲に供する必要ある場合多き次第なり、

國家が滅亡して自國の現狀に照らして不適當なる政體を主張し、若しくは國家の存亡に干する重大問題を放棄し枝葉の議論のみして國は立ち行くものにあらざる也、國家存立の必要上專制的の手段

を必要とせば、專制的の手段を採るべく、又た其和的手段を必要とせば其和的手段を採るべく、理想のみにてなす事、實際に於ては、國の存立には如何なる事情が必要なりやを見、臨機應變に之を行ふべき也、

理想高く空理空論を口にし、出來ぬ事を出來るご夢想し居る連中の嫌疑のみ取りて、國家存立の基礎を破りて平坦たるが如きは決して識者の取らざる所なり、之を人身の病の上に例せんに、人體に病あり、之を治療せんは外科的療法を必要とする場合に身體髪膚之を毀くるは孝にあらざるごとく、外科治療を行はば、死したりこそば如何、之を毀くる以上に、之を殺す方不都合なるにあらざるか、

學者先生が理論上より論斷したる理想を實驗せんが爲め工場を設け終に其の工場を破産し高價の機械類設備等はまことに高價のものなれども到底無用の長物となる場合は決して少なきとせず、

此等の事は我等日常往々見聞する事柄にして、自己の一生を顧みてこれに類似の行爲を自からなせる場合なきとせず、しかも今日に於て之を見る識に智慮の不足なりしを思ひ、私に苦笑を禁じ能はざる也、

今支那の問題を論議する人々の説を見るに、支那の政體は共和なるべからずとか、袁す、否な專制ならざるべからずとか、袁が一日大總統たれば支那の統一は出來がたし、是非共國民政黨の主張の如くせざれば支那は統一出來ずとか、袁世凱ならは到底支那は統一出來ずとか申すを耳にし眼

然るに支那に於りて大切なるは前にも申す通り、何とせよ支那が國家として存立する事が一番大切なる問題にして、其の此の目的を達する爲めには如何なるものをも犠牲に供せねばならぬは明白なり、理想的に共和制がよしとて支那の國家の存立までも犠牲にするごありては始めより支那なく無人島にても占領し此の地に同志の士を集め之を實行するの可なるを思はしむ、

我等は支那の問題を研究するに際し、此の點に十分注意を拂はれんごを希望するものにして、今日の支那の大敵は何人にもあらず、國家の存立を眼中に置かず、國家が諸外國より借入れし外債も眼中に置かず、國際的の貿易が如何なる状態にあるかも考慮せず、只管に空理想をうのたま實行せんとして狂奔し、國家の存立を危くする事のみをつとめ居る人の他にある事なきの一事は決して忘るべらざる事なりと知らざるべからず、

此の如きはすべて平々凡々の事柄にして我等が今更ら茲に之を説くの要なきに似たれども、世の中の人々があまりに高尚なる事にのみ、眼を着け却つて此の如く平凡なる事を忘るもの多きを以て茲に見て一言するもの也、

敢て、彼の階段を上る人あり、此の人が徒らに空想を描きて、敢て足許を見ず、ドゥとごころげ膝に脳に異狀を呈し、人事不省となり、終に其の生命を失ひたりとせよ、まことに氣の毒千萬なる死状ごは申しながら、其の人頗る平凡なる事柄即ち階段を上るには足許を注意する事最も肝要にして、苟の際に空理想は自滅の基なりごの事を忘れたればこそか、る命運に遭遇したるなれど、悟らば、今支那の事を談すものも亦た同様徒らに空理想をまごせずして、事の實際に於

● 資本金 四千八百萬圓
(内拂込參千萬圓)

● 積立金 壹千八百貳拾萬圓

● 當座預金 年貳分

● 定期預金 三箇月年二分
六箇月年三分
十二箇月年四分

● 小口當座預金 月三厘

右小口當座預金ハ最初墨銀五弗以上次ヨリハ一弗以上御預り可申候
但シ利息ハ預リタル月ト拂戻ス月並ニ五弗未滿ノ殘高ニハ之ヲ付セズ



橫濱正金銀行

營業部 二七四
輸入部 三〇〇七
電話 支那人席 三〇〇三

本支店及出張所

臺北、臺中、臺南、基隆、嘉義、打狗、宜蘭、淡水、新竹、阿緞、花蓮港、澎湖、東京、大阪、神戸、香港、廣東、汕頭、廈門、福州、九江、新嘉坡

其他各所ニ取引先アリ

上海黃浦灘第拾六號

臺灣銀行

支配人 江崎真澄
營業部 二六五
電話 支配人席 二二三二

諸事情々御便宜相圖可申、御用ノ御方ハ支配人席へ御電話被成下度候

んとす、熊は曾つて公言して曰く、前總理の職を

擧げ能はざりしは、多く、權限不明の致す所

なり、將來憲法を規定する際、總理權限の一

點に至りて必ず爭論を招くべし、此時率爾

として就職するも、恐らく良好の結果を見

ることなかるべし、云々、此れ實に熊入

京の遲延せる所以を窺ふに、足れり、其遲延

せる所以は今日の時勢より見て能に取

ては當然の處置なりと云はざるべからず

何となれば、今日熊の總理就任は實に支那

をして盛んならしむるか之を哀へしむる

か其何かを下するに足る程の大任なれば

彼は權限を確定して然る後、任にあら

ざれば萬事意の如くならずと思维す、な

り或は熊は曾て財政總長たりし時政黨間

の關係に手古摺する所あり、若し其經驗を

めたることあれば、彼は之に閉口し易す

就任を肯んせざりしと云ふものあり、然

も其苦き經驗は國民黨の失陥と共に云は

ざるを得たる姿なし、此は恐るるに

足らず、熊に取て尤も面倒なるは即ち所

謂總理府の一機關に對し、内閣との關係を

圓滑にすべき至大の難關に逢着せざるべ

からざる事なり、抑も總理府なるものは

新人物側、熊總理も此内に入らんし、より

云へば官僚黨の巢窟にして又私人の資格

を以て内閣に干預する幕僚の集合地なり

而して内閣側より云へば其幕僚は全く小

姑の親あり、而して又之を我日本に比較し

て見れば其幕僚は恰かも我元老に似たり

蓋し趙秉鈞、梁士詒、段祺瑞等は現に官吏

となり居れば別に具論の要なきが、總理府

顧問と稱せらるる孫寶琦、張鳴岐、李盛鐸

蔭昌等は實に新人物の所謂官僚黨即ち前

清の大官なればなり、之を以て輿論は袁派

國民黨を論せず、國民黨失勢の爲め彼等

幕僚の跋扈は之より愈増加し、必ず大に其

運動を開始すべく、愈々政府の耳目を蔽ふ

に至るべしと預想し居れば、熊總理の任の

困難なる所以、察するに餘ありと云ふべ

く、彼が内閣權限問題を云ふ爲る、又故なき

にあらざるなり、去る十九日の當地漢字新

聞、中立派新聞報は内閣と總理府の關係

に就きて之を歴史より見て責任内閣の一日

も早く成立せんと之を切望する所あり、

其其論旨は能く本題を解するに有力な

り、のなれば茲に之を掲載し、參照に資す

べし、即ち

民國建設以來内閣は四回の更迭を見た

るが今の段氏は武夫を以て五日京兆の

地位に居るを以て其得失は固き其人元

に足るものなし、唐、陸、趙の如き其元

來撥亂の才あらざるに、唐、陸、趙の如き其元

夫れ漢後の袁閣唐宋の中書、清の軍機

處は何れも宰相の權を奪ひ取りたるも

猶自ら職任あり甚だ不肖にあらざる限

り、固より溺職することなかりしが、今日

の總理幕僚の如きは、半ば私人の資格を

以て當り職任の云ふべきもなく、從つ

て彈劾さるる虞なき爲め發奮治を圖る

の念なし、此れ政治の退歩して國事の

責任を負ふに非らず、就職せずと聲明

せるは固より見れば及びたればなり、

かに思ふに大總統は茲に見る所あり、速

かに政治機關を改良して責任内閣を實

行し、大體無我の懷に本づく、越俎侵權の

漸を杜け、宮中府中俱に一體となり、臧否

を陟罰するに異同なかるべし、而して秘

府元僚には、元首一人の佐治機關として

其品語文學を取り、密勿を養成せしむ

るに止るべし、必ず辦事の機を招かず、官制

まりて權限を明かにせば、國家の事庶く

は家あらんか

なり

北門の警報又頻りなり

袁氏が一意兩方壓迫に急なるの時、北

の方活佛の庫倫政府は露國の協助により

急内政の整備を實行し國會を召集して大

蒙古帝國の憲法十三個條を制定したり

▲大蒙古帝國憲法

(一)大蒙古皇帝は、大蒙古國を統治し、萬世

一系の君主となす。

(二)君主は神靈委任す可らず。

(三)君主は憲法制定及議會組織の權を有

す。

(四)君主は議會召集並に開會、閉會、停會

延期及解散せしむるの權あり。

(五)君主は官制設定及官吏任命の權を有

す。

(六)君主は陸海軍統率及軍制編定の權を

有す。

(七)凡そ宣戰、講和諸條約訂立並に各國に

使臣派遣のことに關しては均しく露國に

政府の同意を經べし。

(八)緊急の場合に際し戒嚴令を頒布する

時は先づ露國總監と協議し然る後上諭

を下して國民の自由を制限す。

(九)皇帝は爵位授與及恩赦の權を有す。

(十)賞功罰罪等一切司法職務に關しては

法律の定むる所に依て之を行ふ。

(十一)皇帝は、大皇帝の親定に任じ、議會

は之に干渉するを得ず。

(十二)議會は行政上の責任を負はず。

(十三)議會の正副議長は露國人及蒙古人

各一名を大皇帝より勅任す。

活佛の意氣何ぞ軒昂たるや、彼れ、眼、中

民國なし、豈に袁世凱あらんや、湖北健兒

が鐵路長驅殺到し來り、其の難に苦むば、是

れ數千年來支那史を一貫せる潮流なり、今

や袁は僅に南方を逼壓する事を得し、知

らず窮乏の財力不信心の國民を擡げ再び

千里の渤海を橫斷し、雄厚なる露國の後盾

を有する活佛の勢を獲へし得るや如何、

遮莫内蒙古兵防禦に出動せる軍隊は常に

蒙人の輕騎に蹂躪せられて、效果を收むる

能はざるを、一波逝いて一波來る袁の政

府も多忙なる哉

●孔教會の國教

本誌第廿二號を以て孔子奉祀問題と題

し尊孔に對する支那人士の見解を紹介し

論評する所ありたるが去る十五日に至り

孔教會代表者陳煥章、嚴復、夏曾佑、梁

啓超、王式通等は孔教會を國教に請定せん

と、其筋に呈文せり、其文の大略に曰く、

支那建國以來の道なるものは支那國教の

由來する所にして孔子は之を祖述せり、故

に孔教は一切の義理、學術、禮俗、習慣の

歸依なれば孔子は國教の教主なり、孔教が

國教なることは歴史上事實明白にして

異族凌元元清皆孔教を尊び決して民意に

東京海上保險會社
 明治火災保險會社
 日本火災保險會社
 共同火災保險會社
 東京火災保險會社

上海四川路
 代理店 三井洋行
 文路第壹號
 申込所 山口商店
 (電話一八一七)

日本上海火災保險會社
 資本金 三百萬圓
 諸積立金 貳百參拾萬圓
 上海支店
 號九第A路口漢界租英海上
 (番六五三一話電)

逆ふことを敢てせざりき今や國體共和に改まりたれば孔教を國教にすべきは非なりと稱するは民意を主とする共和國にあるまじき事なり又國教を定むるは信教の自由を礙ありとするも支那は既に孔教を國教とせる國柄にして且つ僧教の自由を與へ居たるなり只不文なりしのみ今之を憲法に著するも何等抵觸する所なし夫れ信教自由は消極的政策にして國教を特許するは積極的政策なり二者並行し悖らず相助けて用をなすべくも人に信教自由を許して國教を定めざれば放任に流れ一國其中正を失し國教ありて信教自由を許さずれば干渉壓力甚しく一國其平和を失するなり更らに之を確むべく各國現行の憲法を左に引證し國教規定の信教自由を礙なきを所以を示すべし(各國憲法信教自由に關する引用條項省略)

國民黨派は支那今日の共和は我等の力によりて樹立せられたり且つ自負し舊弊打破一方に對しては孔教を國教とするなどの所論に傾き特に力を極めて攻撃したるものなりしが今や同黨派は討袁軍の一舉によりて勢力顯みに失墜せられたり之より孔子の説く所の道なるものを大本とせざる支那思想は益々光大發揮せらるべし國教の可否は要するに政策上の問題のみ又何をか云はんや

●南昌陥る

李烈鈞は敗兵を率ゐて十日夜南昌に來り警察電話を利用して城門を開かし商務總會と協議の結果軍資金として二十萬元を集め南昌を死守せざるべきを約し二千の兵を率ゐて退却せる歐陽武の後を追ひ十五日南昌より吉安府に回つて山下渡の防禦陣地にありし林虎獨り最後の決戦を希望しつゝありしが幾もなくして李純の爲めに敗られ何れともなく敗走せり多分吉安に走れるならん北軍の代表者南昌

商務總會に迎へられて十五日南昌に到着し此日北軍は南昌の北六哩の地に停止せしが十八日北軍右翼隊長李純兵を率ゐて南昌に入り沙河開戦より三十五日にして江西軍の根據地全く北軍の占領に歸せり此日段芝泉は九江に日英領事各國海軍武官發團吏等を招待して留別會の盛會を張り牙營を南昌に進むるの準備を爲せり其後李烈鈞等は敗兵二千を擁して吉安に占據せるもの、如し一説に歐陽武は人世の無情を感じ吉安府青原山に入りて剃髮し止戈和尚と名れりとなす

●南京の包圍戰

張勳は徐寶珍の兵を合して總勢凡そ五千一は鎮江街並より麒麟門に向ひ一は鐵道線路より太平門に向ひ十四日未明一隊を紫金山嶺に遣はして兩軍の連絡を取り進んで天保城の險を奪はんとする勢を示せり馮國璋の軍は下關の downstream 上陸して十四日夜幕府山を取り他の一隊は南京上流より渡江せしめて南京城南を窺はしむ獅子山砲台は浦口停車場附近の北軍を砲撃し十五日よりは幕府山を打ち一昨年革命戦に於けると同じく始終猛威を逞ふせり張勳の兵は十四日午前十一時頃一旦天保山を取り太平門に迫りしが午後一時頃より間斷なく打出す富貴山の砲火に擊退せられて同日夕刻紫金山は再び南軍の手に歸せり麒麟門より紫金山麓を朝陽門に進める大部隊は同時に退却し十五日は終日緩慢なる砲戦あり下關方面にては馮軍屢々上陸を企てし獅子山の猛火を浴び軍に失墜に歸せり

●南京攻圍戰開る や南京司令官何海鳴は使を英領事に致し下關に於ける外國人の避難、ハルク軍艦の轉輸を行ふべく警告を發せり英領事は英國軍艦ハンブシヤ艦長と日本軍艦須藤艦長を訪ね協議の後其要求を拒絶し同時に北軍司令官馮國璋に宛て用兵上ハルクに危険なきや若し危険あるときは廿四時間前に豫告を發せられたる希望を述べたるに北軍司令官は十六日下關在留外國人は獅子山及烏龍山砲台を去る計清里外に退去すべき通告を發せり外國人は十四日以来各ハルク名は日清汽船ハルク内に入り、城内在留者は一度豫定の避難所に入りしが其地都督府に近くして危険却て多きより十六日全部領事館に收容せられたり海軍の派遣武官は依然文德里に残りしが天保山より打出せる砲彈屢々室内に落下し遂に領事館内に避難せり軍艦千代田十九日到着し須藤と交替す

▲海鳴は總司令官として都督府に在り十四日王憲章上海より來りて參謀長となり全軍を指揮しつゝありしが十五日午後一時第一、第二、第三師團(浦口第三師團は北軍に與せり)幹部會議に於て第一師團長徐壽朋は平和論に傾き馮國璋の軍隊を南京城内に入れん事を主張したるに第八師團長王兆鏘は之を斥け賊酋の首を得ずんば斷じて兵を收めずと駁げり然るに王兆鏘は其夜何者にか暗殺され李可均之に代はりて第八師團長となり十六日徐壽朋は李と相協りて南京の開城を以て一且都督府を占領し獨立を取消したるも同夜第八師團廿九聯隊内に置かれたる何海鳴再び起つて徐壽朋を斬り其首を都督府の轅門に掲げ獨立の宣言をなせしかば南京は再び強硬派の占領する所となれり或一説には在外外國人調停の勞を取らんとしてありと云ふ

▲十六日夜より北軍は南門方面にも影を現はし銃砲戰を開始せり獅子山は揚子江を隔て北軍を砲撃し朝陽門外に於ては砲戰繼續せられ十七日午前北軍の孝陵附近に砲列を布き富貴山の砲台と砲火を交へたりしが正午過ぎ紫金山を占領し一時半頃富貴山に砲彈命中して火災を起しに乘じ北軍は遂に天保山を奪ひしも南軍大舉逆襲して夕刻迄に天保紫金山を奪還し爭奪三四回十九日午後に至り同所は完全に北軍の占領する所となり天保山は城外僅か數丁の地にあり城內富貴山砲台を瞰望しかば南京の死命を制する險要の地たるは遠く長髮賊の包圍戰近くは前年第一次革命戰に於て明かに證明せられたり之れより富貴山砲台漸く沈黙し南軍は城壁に伏して前面を監視するのみ此日北軍の砲彈朝陽門樓閣に命中し火災を起せり張勳は十四日鎮江より牙營を南京の北七哩堯化門附近に置き一部隊を太平門に進めて數回の攻撃を試みたれど廿一日迄には開城に至らず第八師團は首腦者なく統一者なきも各兵張勳を慕ひて哀れも甚だしく斷じて張勳の兵を入城せしめずと云ふに一致し頗る頑強に對抗せり

▲十九日夜拍文蔚は南京派の懇請に依り水雷艇湖鵬に乗じて南京に來り南軍の指揮を取る事となれり之と相前後して在上海國民黨本部の強硬分子は馳せて南京に赴き能ふ限りの對抗を試みんとするもの如くなるが柏は私かに敗後の計を練らし安徽浙江の省界地方を退守の地と定め居れりと云ふ

▲之を要するに北軍は西は江を隔て、相對し南は雨花台の南方數里の地に迫り東は紫金山天保山より朝陽門外の丘陵に據り北は太平門外より玄武湖を隔て、幕府山と獅子山と相對し四面包圍の形を爲せり、兩軍の損害は十四日の戰鬪に於

此の際の御申込は便利しどて最も好機會なり
△我が社の組織 株式會社の如く營利目的の乏なく保險契約者は即ち社員にして會社の主權者なり
△我が社の利益配當 目下毎年四分の配當を爲し居れり、生存中利益配當を受け而も萬一の場合には保險金を受取る事勿論なり

生命保險の界明星

約積立 五百七十五萬圓
當配員 金八百七拾萬圓
準當員 金九拾萬圓

諸員 積立 五百七十五萬圓
當配員 金八百七拾萬圓
準當員 金九拾萬圓

(在現本月二十年元正六滿末年九業創)

千代田生命保險相互社會

店理代海上 行洋倉大

齊藤 德次

▲我が社の拂濟保險 我社の利益配當は毎年保險料より差引す、故に年一年負担は輕減すれ共負擔に堪へ難き時は拂濟保險として一時拂込を中止する事を得

▲我が社の仕拂 会社が社の基礎は最も鞏固にして仕拂は最も敏速也、創業以來未だ曾て保險金仕拂に故障起りし事なし

▲案內書は大倉洋行へ御申越あり

囑托醫士 秋田康世

依願免官 廣東國廳籌備處長 廖仲愷
 任命廣東國稅廳籌備處長 胡壽鑑
 任廣東國稅廳籌備處長代理 宋英賓
 命九江要案司令部參謀長 李厚基
 任吳淞要案司令 李厚基

徐州方面之田賦免除 叛徒倡亂以田賦免除之爲的既聞せられたる民情を察し田賦且つ該匪徒の剽劫を命ず

被害民救助 劉誠永定河決口の爲め被害を支出し救助せしむ

加海軍上將衛 陳汝昌
 加海軍中將衛 陳汝昌
 加陸軍中將衛 陳汝昌
 授海軍少將 陳汝昌

特授勳五位
 謝清和 周學憲 高文忠 林兆莊 林兆章 林兆章

(以上八月二十日)
 ▲岑春煊處罰令 黃興と同様の罪状あり各省都督民政長に岑春煊の拿捕を命ず(政府は駐支英公使に向つて支那に近き處の叛徒を住まはしむるは政治上危険なりとの理由の下に岑を新加坡に入れざる様要求する所ありたりと)
 周自齊 任中國銀行總裁 (以上八月二十二日)

●陸戰隊撤兵

十五日陸鎮冰は上海吳淞地方水陸警察主任に任命され各國陸戰隊を關北及び居留地各方面の境界線より撤退する事となり十六日名和司令官は外國領事團の請求により概數千二百の陸戰隊に撤退を命じ同日午後三時より十七日午後三時迄に引上を終り

●中國社會黨の現狀

本月八日の大總統令を以て中國社會黨

を解散し各省都督及民政長に命ずる所ありたは既に既報の如くなるが之より前
 去月廿五日北京社會黨首領陳翼龍は北京軍警執法處の爲め逮捕され本月三日銃殺の刑に處せられたり其陳の罪状を發表するに之によれば陳は年二十八湖北羅田縣人にして一昨年北京に赴き秘密に社會黨を組織し露國總無黨と聯絡し慈善教育を普及すといひ露國總無黨を上海に設置し其支部を各省(四百餘個所に)に設立し入黨者多數に上り宋教仁案發生と共に猛烈なる手段を上り宋教仁案發生と共に猛烈なる手段を以て政府に對し鋌刀團、救國社等各種の名目で政府に對し事を擧げんと圖りたるものなりとあり今回政府が社會黨解散令を發表せる恐ろしき之に起因せるものならん然るに其解散令に對し當地の社會黨即ち萬國社會黨上海俱樂部は去る十五日午後七時當地慎食衛生館に在りて集會し之が對抗方法を講じたり之に關し漢字新聞は該會の模様を左の如く記せり
 江亢虎は先づ中央が社會黨を解散せる命令及右陳翼龍罪公文を宣布し之を各國同志に語り意見を徵求したるが英國社會黨ジャンクン君起ちて演説して曰く文明各國人民は當然言論出版集會の自由あり今專制は民氣を摧殘し人權を蹂躪せり君主專制の露國を除き決して此の如き政體なし社會黨は當然全體を搏合し死を冒して抗爭し最後の目的を到達すべし各國同志願くば聲援を爲せ云々と露國社會黨シンドモン君曰く虛無黨の名は久しく已に消滅せし何より勾通せしか殊に笑ふべきなり社會黨に至りては人道を主張し平和を崇尚し要は至誠を以て感化しなり此に本社會黨は政府の爲め解散せられ幸徳秋水は死罪となりしが解免せり共和國開始の本中國も此慘劇を演成せり將來反動作用を發生せば決して中國の福にあらず次に仲田著治君は曰く政府の壓力は最も社會黨の進行に益あり且つ中國社會黨を各國同志と手を携ゆること促がすなり次に郭堅忍、白頭洲兩君は曰く陳翼龍の罪状本黨以外の事に係り本黨と相關せず本黨は仍固有の態度を守るべし午後一時散會せり本月三十一日午前中國社會黨聯合會は更に善後策を講じ九月一日再萬國社會黨俱樂部の開會あり其際此案の

始末及び決議を外國文に譯成し廣く宣布すべし
 ▲全國商會聯合會之國民銀行
 全國商會聯合會代表者宋璋臣外二十五名聯名にして呂志伊、林森外三名の紹介を以て國民銀行の設立を必要とし之を實業振興に充つるの目的を以て設立し善後借款費等に定まり居るを以て外に實業借款を起し實業を盛んならしめんことを求め議會に對し之が請願書を提出せり
 尙ほ同聯合會は國民銀行設立につき每縣に一銀行を設立し政府より五萬元を支出し縣内商會より五萬元を募集し都府十萬元の資本とし之を基本金に充て更に中央政府より二十萬元の國幣を市上に融通せしむること、縣にすしかくせば支那二十二省は約千數百縣に分たるを以て每縣五萬元とし八千萬元の資本を得て二十四百萬元の國幣流通となり之を五分の利息として政府は一千二百萬元を獲得すべし云ふにあり而して其辦法を左の如く定め居り
 一、國民銀行本店を北京に設け財政部、籌畫に歸し毎省に人を派遣し先づ交通便利の省より開始し以後五年内に於て全國に遍設し當初一年以内に資本の五分の一を要す但し千數百萬元あれば銀行を數省内に設くべし
 一、各總行行復設後約千數百處に達せば財政部の管轄を難なれば之を商會に取扱はし毎月一回帳簿を査らべし若し銀行經理人に於て不正の點あれば商會は直ちに之を財政部に稟請しなば部中よりは約百名の調査員を派し每名十ヶ處を專管し毎月本店に報告せしむることとし本店との消息を盡せしむるべし
 一、銀行職員俸給一切の支出は寬裕にし地方の殷實なる紳商に担當せしむべし
 一、銀行事務は銀行學に精通せるものを選び一切の規則を編定せしむ
 一、銀行の事務を扱ふ重要人物は其地の商會より公舉信用あるものを以て之に充つ
 一、銀行は抵當貸し若し現金過多なる場合は之を各港の支那銀行に預金すべし

●陳其美之領事團 陳其美が上海租界内に居住し居るにつき上海外國領事團を代表し、領事團たるべき自義總領事は左の如く工部局に通知したり
 啓者上海外國領事團は陳其美に對し上海居留地内に来るべからず其美に對し背反する時は拿捕すべしとの事を告示し且つ陳其美に之を通告する事を貴下に囑するの光榮を有するものに候
 右はミュニツバル、カウツンの帳簿に「アス氏に宛て本月十一日に記るされしもの也、之に對し、工部局は其の警察の探偵部員に命じ、右の旨を出来る丈速かに陳其美に逋達すべき事を領事團に回答したり

●遭難後の同文書院 遭難後の東亞同文書院に就きては東京なる同文書院本部を始とし同會關係者並びに同文書院關係者及び出身者なるより滬友會等善後策に盡力中なるが今其後の事情を聞くに、書院校舍は差當り長崎縣大村町に假校舎の設けし此所にて九月、十月、十一月の間に諸校舎の設備を完了し十月末迄に大村町より職員學生を收容し十一月初より當地假校舎にて授業を開始すべし猶該假校舎の租借期限は約一年半の豫程にてそれまでに新校舎を完備すべしとの事なり

●名和司令官のアットホーム 我が第三艦隊司令官名和海上軍中將は先般上海各國海軍陸戰隊及び義勇隊の總指揮官として其の事務所を上海日本總領事館に置きしが、今回陸戰隊の撤退と共に其の總指揮官も止められたるを以て、總指揮官在任中接衝したる各方面の人々を招きアット、ホームを去る八月廿日午後四時半より六時半迄アストル、ハウスにて開きたり、來客は各國海軍將

●諸大家寶藥各種 ● 美容化粧品各種 ● 廉價販賣

● 醫療用藥品 ● 醫療用器械 ● 醫療用綑帶材料 ● 理化學用藥品 ● 工業用藥品 ● 玻璃藥瓶各種 ● 諸大家寶藥各種 ● 處劑調方處御醫大諸

校、各國領事團、義勇隊、工部局員、警察部長、海關の人々、日本人の主要なる人々等にして各國新聞記者も加へられたり、頗る盛會にして來客皆歡を盡し、主人名和中将始め第三艦隊の將校諸員の手厚き接待に感謝したり、此の日の如く各國の海軍將校を一堂の下に集めたるは稀れに見る所にして國交上に資する所多かりし事と信す

●中華民國の厄運

當地にて發行する國民黨の新聞中華民報は常に袁氏に反對して激烈の文字を弄し討袁軍の爲めに氣焔を擧げたりしが遂に該報記者某は去る八月二十三日會審衙門に於て六個月の禁錮及五百圓の罰金を課せられたる理由とす所のは禁報及び袁世凱の誹毀等の煽動の記事を掲載せりと云ふに在り、而して英國陪審判官は斯の如き記事を報道する者は租界の公安を害する者として其の放逐を主張し若し再び斯の如き報道を爲す時は斷然租界在在を禁すべしとて今回は一應前記の如き處分にて落着したり

●匯豐銀行頭取の支那の財政

去る八月十六日香港の本店に於て開會されし香港上海銀行即ち匯豐銀行の半期株主總會の席上に於て同銀行頭取は其の報告をなせる節支那の財政に于し其の所見を述べて曰はく北京の元老政治家の盡力の結果のみ支那の將來は將來のべきものにして、又支那が將來其の商工業の發達を十分ならしめて其の財政の健全を期し得べく、商工業の發達には歐洲の市場に其の資金の融通を求むるの外なし、此等の重大緊要の諸問題には到底政黨者流の論争、猜疑等を事となし居りては解決すべからず、支那に於ては憲法上の理想の前に先づ支那を統一する事と財政の基礎を立つる事とをなさざるべからず云々

●湖南獨立取消の真相

去る十三日獨立を取消したる湖南は實際譚人鳳一派の所爲にして譚都督の本意にあらず

故に該省の商會等も之に關し中央政府に向て獨立宣言の事實を報告し辯護したる程なり又譚都督も自身辭職の辭表を呈して袁總統に宛て自己を責めて辭表を呈したる一事に依るも之を證すべし要するに福建譚人鳳は於ける許崇智と湖南獨立に於ける譚人鳳は又上海鎮守使鄭汝成に打電し、譚人鳳及び蔣翊武の拿捕方を依頼せり

●四十一年間に無き本年の暑氣

本年は土用後反つて暑氣甚しく一般に暑氣の爲め打撃を蒙つた次第なるが茲に徐家匯天文臺の調査に成る四十一年間の平均温度と本年八月七日より二十日に至る温度の暑氣比較對照表を示し如何に本年の暑氣の激しかりしかを知らん

月日	本年の温度	四十一年間の平均温度	比
八月七日	九三.六	九二.八	一.八
八日	九四.七	九二.八	一.九
九日	九五.〇	九二.八	二.二
十日	九二.二	九二.八	〇.六
十一日	九二.二	九二.八	〇.六
十二日	九四.八	九二.八	二.〇
十三日	九六.八	九二.八	四.〇
十四日	九六.八	九二.八	四.〇
十五日	九七.七	九二.八	四.九
十六日	九四.六	九二.八	一.八
十七日	九五.〇	九二.八	二.二
十八日	九〇.一	九二.八	二.七
十九日	九八.九	九二.八	六.一
二十日	一〇〇.一	九二.八	七.三

之を過觀するに本月七日より二十日に至る約二週間の温度は四十一年間未曾有の最高温度なりしなり、右に就き當地在住の高人並に支那人中には暑氣の爲め斃れる者少ながらざりし由なり、邦人中に之れ無かりしは幸と云ふべし

●上海兵災善後策

上海縣に於ては上海兵災善後策として臨時救濟、損害調査、公共衛生の各部門一切を調査することとなり且に去る八月日より之が事務所を上海縣衙門に置き愈々着手することとなり同事務所は上海行政官吏と地方人士と共同組織に係り調査せる報告書は之

を大總統に呈し撫恤に資する爲めなりと云ふ而して該調査の時日は十五日間として九月三日を以て締切り此間に被害者として被害の程度に應じ該事務所に之を報道せしむる筈なり之に關する規則八個條は已に發表せられたり

●旅滬客船の輸入倉庫規定

當地旅滬客船商會が去る二月新に規定を輸入倉庫設立に關し此新規定は實に商民を害するものなりと云ふし既報の如く其取消方を囑願する所ありしは既報の如く其後該會は上海戰爭當時一度電請し更らに戰爭平定せるを俟ち市面維持の爲め去る十八日當地總商會の手を経て北京政府に又復電請する所ありたり

●租界内の叛黨取締

中央政府は今回動亂の爲め海關、廣東、安徽、江西方面より叛黨續々として上海租界に聚集するもの少からず或は意外の出來を懼すやも圖られずと云ふし鄭鎮守使に電請し此等叛黨を嚴重に取締らしめ同時に駐滬交涉使張煥全をして領事團に照會し各警察署に向つて協力して叛黨を捕拿し之を捕拿次第引渡されんことを要求する所ありたり

●重慶の獨立

重慶より ジー、エヌ生 (前略) 當地も昨四日獨立を宣言致候

高等審判廳檢察長、觀察使代理楊某其他三四の通派は昨日就殺せられ、警察廳長張英は逃匿致申候、成都方面並に瀘州方面の状態更らに不明なるも、第五師團即ち討袁軍々兵は續々成都街道に向け出動致居候、四川討袁軍總司令(第五師長)熊克武は昨日左の布告を出し申候、本軍獨立、誓討袁胡、元惡大寇、在所必誅、保衛安民、嚴拿匪徒、凡我同胞、勿致驚虞、(八月五日)

●獨立後の狀態

去る五日成都より重慶に來着せし電報によれば「形勢混沌」之有候、當地も出兵準備既に整ひしものと見え、熊討袁軍總司令は六日午後成都街道へ向け出發致候、本月(七日)當地「新中華」記者の瀘州來電は「第一師兵潰周師長不知下落」と報じ居申候、尙ほ只今離開する所に據れば、第一師長周氏は胡派なりと雖も、其の部下の士官七分は南軍に心を寄せ居れば此の電報事實ならんことに候(八月七日)

●各軍隊の態度

(別報) 龍生 前路去る四日拂曉當地も獨立騒ぎ致居候、第一、二、三、四師共に第五師團長に反抗の態度(勿論二、三は嚮背未定なり)なる上、既に永川、榮昌附近に第一師團と對陣して正に戦はんとし居り、若し戰敗すれば如何と云ふこと城內の人々の懼る所なり、目下恐怖時代を現出し困入申居候、殊に汽船蜀通下航したるまき來らず閉口に候(八月六日)

●各地通信

重慶より、ジー、エヌ生

法界呂班路三三三
純牛愛
良乳光
電話貳壹七五番

ASAHI BEER
ASAHI BEER

大日本麥酒株式會社
釀造元
代理店 三井物産會社



丘は冬至日日出七刻皇帝臨幸して三跪九拜親ら天を祀りし所祈年殿亦正月の上辛皇親ら萬民の爲めに五穀豐稔を祈りし所なり、四億萬衆の權利義務の大典を規せんとする憲法委員會を此の地に設けたるは甚だ雅、境内樹木茂盛し其の涼快なり

▲八月十日 民國政府は前に外交團に對し上海開北地方に北軍の駐在するを許るされん事を要求したりが此の頃各國公使は西班牙公使館に集議し今日是れを允許せり、但し(一)租界警察權を侵害せざる事(二)北軍の蘇州河航行を禁する事(三)二條件を附したり

▲八月十一日 動物勃發以來南北電報の往來頻繁の結果政府は軍事上無線電信の効力偉大なるを認め、現に陸軍は北京武昌の兩地に無線電信の設備を計畫し久しからずして起工すべしと云ふ

此回の戦亂の爲め借款より維持せられし中央政府の財政は早くも窮乏を告げ五國銀行團に對し五百萬の拂渡を要求したり一方政府は五國銀行團代表者に對し彼等が是れ迄臺灣の盡力に酬んが爲め嘉禾章を贈呈するの議ありと云ふ

●安徽潁水の船上にて高橋生正陽關を去る二百清里なる潁州より申上候、正陽關以來南北交戰地帯を經過致せし事にて種々疑惑の標的と爲り閉口仕り候、正陽關には南軍駐在し居り、五里埠には數門の大砲を据付け物々しき軍容に候而して之れが「イタ我等の行動を阻礙せしには閉口致候而し我等の日本人たる事を示し居り候、以後は此の煩雜も無く三日午後四時此の地を出發し得對岸なる八里港に着住り候時に夕陽没し得四圍明別し難く加之土地は不案内なり殆ど困難仕漸やく同地の小学校に一夜を明かし申候此の邊にての潜籍は南軍は當地に北軍ありとし北軍は南軍有りとし互に兵を進めず斥候すら出さず嚴重に據守せる陣地を離れざる事に候、流石は支那式にて面白く感じ申候

四日午後潁水縣に著す、時に軍隊城門を扼し拒んで入らず即ち護照を示し漸く入る事を得候、當地には潁水より下り來れる軍隊上陸致し殺氣四溢を壓し居り候類上よりは民船にて、百四十清里を太

和縣に向ひ申候、沿途軍隊の検査嚴重にして然し閉口致候護照を示すも仲々肯んせず使所に行くも散歩に出ずるも々々武裝の兵士を附し頗る煩しく感申候、當地の風俗は壞敗其極に達し居るらしく書くも筆汚に候へば略し申候(八月九日)

●安徽省太和縣にて 高橋生 昨九日當太和縣に到着仕り候潁州附近にて虐待せられたる一行は當地にて頗る優遇を受け候、當地には一個小隊位の兵士居るのみにて極めて平和に候、居民は何れも平和ならん事を欲し戰禍を厭ひ居る事虎よりも甚しく候、故に人情風俗の如き潁州附近に比すれば霄壤の差に候

▲八月十日 一路河南省周家口に向つて候當地は我等の安徽に於ける最終調査地と爲り候、潁水は當地附近に來れば水漸く清く沿岸又樹木多く蒼潤の氣満ち居り候(八月十日)

公私人消息

●柴陸軍少將 過般來長江一帶視察中なりし同少將は今日視察を終はり去る十九日出帆の春日九日に歸朝たり

●土屋鼎氏 東亞同文書院寮監なる同氏は今日同文書院遭難後の報告旁打ち合せを兼ね去る十九日出帆の春日九日に歸東野中侯教氏、長江上游視察中の陸軍大尉なる同氏は去る十八日入港の南陽九日に歸還したり

●津田静枝氏 第三艦隊旗艦對馬砲術長たりし津田海軍大尉は今日海軍軍令部出仕に轉職上海駐在を命ぜられたり

●深水十八氏 久しく滯滬中なりし同氏は去る二十日出發北京に赴きたり

●エフ、エス、エー、ホウン氏 當地英國高等法院判事なる同氏は去る二十日出發威海衛に向ひたり

●服部孝之助氏 支那郵政司事務なる同氏は先般北京より來滬去る廿二日大東丸にて福州に赴任せり

●神田正雄氏 在北京大坂朝日新聞社特派員なる同氏は郷里に在る母堂病氣の報に接し去る十五日一時歸朝せりと

●青木宣純氏 在北京日本公使館附武官

陸軍少將青木宣純氏は陸軍中將に升任の上旅順要塞司令官に轉職せられたり

●青藤季治氏 陸軍步兵大佐齊藤季治氏と名なり、同氏は會て杭州に在り後ち間島に赴き有名となりし人なり

●井手三郎氏 上海日報社長代議士井手三郎氏は去る廿三日入港の山城丸にて來滬當分上海に滞在の筈

●ロバート、エム、ペーコン氏 前米國國務官なる同氏は去る二十三日來滬したり

●ジョージ、エイチ、マルブレイ氏 米國總領事(無任所)なる同氏は去る廿二日濠洲へ向け出發したり

●神崎正助氏 兼ねて歸國中なりし當地三井洋行の同氏は去る二十三日入港の山城丸にて家族同伴回滬したり

●上海港 出入統計

本月十五日より同日二十一日に至る一週間中上海港に出入せし内外汽船の總計は九十九隻、三十三萬七千〇八十八噸にして内入港船舶は九十隻、十五萬二千八百八十六噸、出港船舶は百〇九隻、十八萬四千二百〇二噸に上る、其の詳細は左の如し

品名	數量	前號比較
印度綿絲	六、五二九	△四
綿絲大俵	二〇、七七三	△三
綿絲小俵	四、九六四	△四
金巾(單包)	三、七八四	△九
磅寸軸木	二、四八六	△一
白糖	三〇〇	△一
麥粉	四九、八六一	△一〇
五粉	一五、九五七	△二
昆布	一八、一七九	△三
切昆布	七、三三五	△七
鹽魚	二、二二一	△四
フランキル	二、八五	△一
茶	五、八六	△一
雜貨(箱)	七、八七六	△五
雜貨(包)	二、〇八一	△二
九江紙	七、四二六	△二
洋紙	五、八六	△一
舊鐵	四、九一五	△六
鉛	二、二七	△三
銅	二、二七	△二
強水	二、二七	△二

●郵船 滬山在庫品 (計を請ふ)

(八月十九日調査統計)

合計	一九九	一八四、二〇二
總計	一九九	三三七、〇八八
英國	四三	八五、四七三
日本	二三	四〇、一四八
支那	二八	二四、八七六
獨逸	九	二二、〇三八
露國	一	一、九六二
和蘭	一	五、四五
埃國	一	三、〇〇四
丁抹	一	二、三四四
那威	一	三、五四三
佛國	一	三、五四三
米國	一	三、五四三
合計	一九九	一八四、二〇二
總計	一九九	三三七、〇八八

上海五馬路 電話二五七六

池田洋行

京師鈴木製 度量衡 各種

三頭洋行

ペンキ塗 代理店

上海虹口乍浦路あつま前

お國自慢

珍名産

名物屋

上海虹口乍浦路あつま前

珍名産

名物屋

上海虹口乍浦路あつま前

各種商況

二十日 七四、〇〇〇
廿一日 七四、四〇〇

▲一般商況 揚子江各地の兵亂も漸く鎮靜し、今の處南京と蕪湖とに南軍あり、南京は北軍の包圍中に在り、蕪湖にも安慶方面より之を征伐の爲め、軍隊派遣され居る昨今の有様なれど、大勢殆んど定まり、殊に吳淞の陥落ありし以來、順に商人一般に前途を樂觀し來り、各方面とも多少の取引を開始しにせり、各方面とも多少の取引を見るに依るは悦ぶべき現象なり、たゞ金融は依然として各銀行の手に緩漫の狀態を示し居るを以て、大なる取引を見る能はず、滿洲方面に於ける好作と相伴ひて揚子江流域各地の農産物は豊作の見込あり、大豆類の如きも本年は例年以上の輸出高を見る得る見込もありこの事なり、綿作も頗る樂觀すべく、久しく待たれし雨も多少あり、此の分には各方面とも漸次商況活氣を呈する事ならん、たゞ今日の問題は金融の都合よくなる事のみなるべし、目下の處は輸出中常時物の物は弗々新商談あり、昨年の今頃は輸入雜貨の冬物仕入時期とて商談多かりし、今年は此事變の爲めまだその取引を見るに至らず、しかし急需品例へば齒磨等の如きものは既に取引を開始し居りて、その他にも弗々商談あり、上海に於ける戰事の爲め殆んど一ヶ月間商業沈滞し、上海南市及び城内大小東門方面の商店は閉店し居たるが今や大勢定まりたるにより、南市城内の各貨店、其の他祥泰、周益大等の各吳服店、裘天寶、寶成等の各銀樓は孰れも去る廿一日より開店、なほ高昌廟製造局附近の如きも漸次常態に復し來り、鎮江守使が高昌廟方面の各店に開店を通告したる爲め米糧店、蔬菜屋の如き相率ゐて開店するに至り、居民は一方ならず悦び

居れりとの事なり
▲外國棉 米國カンサス地方にて綿作込み不十分なるの結果値段上騰しリヴァプール市況は現物六片五六、十片物及び化十二片五片九八を唱へ、ベナラ物は變化なく五片四分の一なご埃及物は二十ポイント上騰し九片五〇となれり
▲倫敦銅相場 前週より一磅下落し六十八磅五を唱ふに至れり今本月二十日より同二十二日に至る相場は左の如し
G.M.B. 電氣銅
十四日 六八・二七、六七・三三、〇〇
十五日 六九・二、〇六、七三、〇〇
十六日 六八・一五、〇七二・一五〇

▲支那棉 江蘇省の綿作も雨を待ち居れり、なほ引續き雨さへあれば今日の所非常に良好の狀勢にあり、買手は買進ます、値段は弱氣にして即ち太倉物二十一兩八分上等機械線二十一兩五分、上海物二十一兩二分、北市種十兩八分仙南市種十兩一分、輸出總高は僅々一千九百十九担に過ぎず

▲日本綿絲 週中取引高九百俵あり直段は多少安値にして、即ち十六手物百三兩五分乃至百十四兩五分、二十手物百七兩五分乃至百十六兩最近入電三品相場は當百四十一圓九十錢、中百三十九圓十錢先百三十七圓九十錢なり

▲印度綿絲 孟買は別段變化なく、上海に於ける注文あり、週中取引高五百廿五俵の外に再約定物一千俵備安にて賣れたりこの事なり、右五百廿五俵中十手物四百廿五俵八十九兩乃至九十八兩にて泰星島半莊及び青島に賣れり、又十二手物百九十八及び青島に賣れり、週中彼阿寶船アカーデア號にて二千七百七十九俵の入荷ありたり

▲支那綿絲 週中取引高七百俵即ち十六手紅龍五百俵百二十兩六手水月二百俵百四兩五分なり、バンドル市況は又

復下落せり、十手物八十九兩七分五分乃至九十四兩二分五分、十二手物九十四兩七分五分乃至九十七兩二分五分、十四手物九十三兩二分五分乃至九十九兩七分五分、十六手物九十六兩二分五分乃至百零二分五分、二十手物百五兩二分五分乃至百零二分五分、倫敦銅相場 前週より一磅下落し六十八磅五を唱ふに至れり今本月二十日より同二十二日に至る相場は左の如し
G.M.B. 電氣銅
十四日 六八・二七、六七・三三、〇〇
十五日 六九・二、〇六、七三、〇〇
十六日 六八・一五、〇七二・一五〇

膏藥 文路長第貳三〇號
廣光堂大藥房



上海日泉港路一五〇
電話四〇七五番

▲上海附近即ち寧波杭州方面との取引已々開始せられたるに至れり然れども南京陥落今尚は不定なれば長江一帯への荷動も時間になし要するに今云ふ南京の陥落も時間の問題にして長江一帯は近年稀なる豐作とあれば時局の沈滞と共に意外に早やく恢復すべしと予想せらるる殊に四川客筋は目下仕入時期に際し居れば長江の障害去るべしと同時に同方面への荷動必す活潑なるべしと云ふも四川已に不穩となれば今の處容易に予想すべからざるに似たり

▲砂糖商況 引き続き同様の状態に在りて何等發展を見ず從て特に記すべき事項なし、仲間相場目下左の如し
精糖 倉渡 五兩八錢五分
爪哇赤更 同 五兩一錢
馬尼刺赤糖三號同 四兩四錢
▲雜穀肥料 市場恢復に向ひつゝ、ありしに又復た南京開戦の爲め稍頓挫の姿となり、大豆、在荷皆無着着なし種稻藥付もの壹兩五分五厘無着の壹兩七分五分棉實粕在荷なし新種稻先物引合時機につき弗々商談あり

製造元 帝國礦泉株式會社
輸入元 永井分行
電話 一五八四

三野水
平野水
サイダ
ジンジャー
オレジン

虹口吳淞路
宮本商店 (電話三五九七)
虹口市場前
松本商店 (電話三〇五五)

紙本掲載廣告の特長は行數の多少掲載期間の長短に依り料金の御相談可致候間御用の方は端書又は電話にて御一報被下度候
週報上海 大報二七日本堂轉發
發行所 春申社 (電話三〇八三)

編輯兼發行人 上海郵字路七三三 佐原篤介
印刷 上海上海路二七六 蘆澤多美次
發行所 上海三〇三七 春申社
電話三〇八三

本紙定價(前金)
一部 銀十仙 金十錢
一月(四部) 銀四十仙 金四十錢
半年(六部) 銀貳百二十仙 金貳百二十錢
一年(五部) 銀四部 金四部
振替口座 福岡四七〇五番
支那上海 春申社 佐原篤介
大正二年八月二十五日

歐亞聯絡最捷交通線

◎急行列車ハ最新式ノ寢臺車
一等車及食堂車ヲ聯結致居候

○大連長春間急行列車

大連發 月、水曜日午後三時二十分 莫斯科行
土曜日 午後三時二十分 聖彼得堡行

長春着 火、木、日曜日午後六時五十分

○滿鮮直通(釜山長春間)急行列車

釜山發 日、火、金曜日午後九時五十分
安東發 月、水、土曜日午後四時四十分

長春着 火、木、日曜日午後六時五十分

○長春大連間急行列車

長春發 月、水、金曜日午前七時
大連着 同 午後十時二十分

上リ

○滿鮮直通(長春釜山間)急行列車

長春發 月、水、金曜日午前七時
奉天發 同 午後二時四十分

釜山着 火、木、土曜日午後七時五十分

下リ

◎大連發、水、土曜日及大連着、水、金曜日急行列車ハ上海航
路汽船ニ接續致候

歐大	哈爾濱	二十四時開
亞連	莫斯科	十日開
間連	聖彼得堡	十日開
行	里迄	十一日開
程	倫敦	十二日開
	敦迄	十二日開半

鐵道旅館

ルテホトマヤ

大連、旅順、奉天、長春ニアリ
設備完全 食物精選
大連市外星ヶ浦ニハ海岸ほてるアリ

(YAMATO)號畧報電

大連上海航路

使用船

神戶丸 九三八七六噸
神戶丸 九二八七七噸

南船共船内無線電信局アリ

大連發、土曜日正午 上海着、月曜日午前

上海發、水曜日午前 大連着、水、金曜日午前

上海大連共ニ棧橋繋留

速力 神戶丸九十九海里航海時間三十一時間
神戶丸九十四海里航海時間四十一時間

(MANSEN)號略報電

撫順炭

大連、營口、天津、芝罘、

上海、香港、新嘉坡、彼南其他東洋諸港ニ於テ常

ニ潤澤ナル貯炭ノ準備アリ

南滿洲鐵道株式會社

本社 ○ 大連市東公園町 支社 ○ 東京市麹町區樂町
(MANTETSU)號略報電(番九一二連大)金貯替振